

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8288
担当部課名	生涯学習部	スポーツ	課	スポーツ 係
事務事業名	社会体育普及奨励事業		事業コード	15210

1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	いきいきとした生涯学習社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第2節	生涯スポーツ・レクリエーションの振興	~63 年度
施策名	第1施策	スポーツ・レクリエーション活動の促進	

2 実施根拠及び関連法令等

スポーツ振興法、相模原市スポーツ振興計画（平成6年3月策定）、相模原市スポーツ大会奨励金贈呈要綱、体育の日記念事業実要綱

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象（誰、何）	
市民の体力づくりの推進やニュースポーツの普及をし、また全国大会等に出場する者に対し市民のスポーツ活動に対する意識高揚に応える活躍を期待し奨励金を贈呈することにより生涯スポーツの基盤をつくる。		市民	
		対象数	
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
<ul style="list-style-type: none"> ファミリーオリンピック（体育の日記念事業）の開催 全国大会出場選手等に対し出場奨励金の贈呈 41件 ビーチボール講習会の開催 2回 <p>現在、ファミリーオリンピックについては、市民体育祭と同日開催を検討中</p>		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～ 年度

4 評価指標

指標名	ファミリーオリンピックにおける参加者数	ビーチボール講習会における参加者数
指標式	ファミリーオリンピックの参加数	ビーチボール講習会の参加者
指標設定の意図	参加者数を対前年度比較し、ファミリーオリンピックの参加者増減数を見る。	参加者を対前年度比較し、ビーチボール講習会の参加者増減数を見る。

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度（評価対象年度）		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	314.0	0.0	a 193.0	b 350.0	1,500.0	
指標	88.0	64.0	c 92.0	d 90.0	150.0	
指標			e	f		
事業費	決算（予算）額	4,741	2,652	3,325	4,264	3,343
	人員・時間数	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人
	人件費	8,420	8,420	8,420	8,420	8,420
	その他経費					
	合計	13,161	11,072	11,745	12,684	11,763
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 C ▼	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 78.7%
	B:一部達成していない(100%> 80%)	
	C:達成していない (80%>)	

$\frac{a}{b} = \frac{193.0}{350.0} \times 100 = 55.1\%$	$\frac{c}{d} = \frac{92.0}{90.0} \times 100 = 102.2\%$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
---	--	----------------------------

理由： の達成率については、事業が雨天により正午から中止となっているためパーセントが低くなったものである。

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A:適応している	理由： 広く市民の参加を募りスポーツ・レクリエーションを通じ絆を深め、各自の体力づくり、健康づくりの意識の高揚と生涯スポーツの基盤をつくるため、引き続き取り組む必要がある。
	B:一部適応していない	
	C:適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A:妥当である	理由： ファミリーオリンピック、市民対象実技講習会を体育指導委員が運営することにより、行政と密な連携をはかることができ経済性・効率性は高いといえる。
	B:一部妥当でない	
	C:妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 A ▼	A:代替の可能性ない	理由： 市民がスポーツへ主体的に取り組むことを基本としつつも市民の体力づくりの推進やニュースポーツ普及等の環境整備をする必要がある。
	B:代替の可能性低い	
	C:代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 B ▼	A:満足できる	理由： 多様化する市民ニーズにある程度応えているが、種目面等において検討の余地があると考えられる。
	B:一部満足できない	
	C:満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A:有効である	理由： 生涯スポーツの基盤をつくることを目的として、体力づくりの推進やだれもが気軽に行うことのできるニュースポーツの普及は重要な事業と考える。
	B:一部有効である	
	C:有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> 生涯スポーツ社会の実現に向け、普及啓発に努める。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> 各事業実施にあたり、最低限の経費実施しているため削減は困難である。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	体力づくりの推進やだれもが気軽に行うことのできるニュースポーツの普及は生涯スポーツの基盤をつくるために重要な事業と考えられ、今後も相模原市スポーツ振興計画の基本理念の「いきいき躍動するまち さがみはらを目指して」を目指し実施する。
	今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--